

## 指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

研究計画書番号	RP-S5-18
研究課題名	原爆被爆者の消化管がん生存率
研究責任者（所属）	バックワルト・ブランディー（ワシントン大学）
放影研での研究責任者	杉山裕美
試料・情報の利用目的及び 利用方法	<p>利用目的： 寿命調査のデータを使用して、がん診断前の原爆放射線被曝と、その後の胃がんまたは大腸がんと診断された人の生存率との関連を評価することが目的です。</p> <p>利用方法： 寿命調査追跡調査期間中に胃がんまたは大腸がんを診断を受けた対象者については、部位別に生存率解析を行います。全死因に関する全生存率解析と、当該がん死亡による生存率解析を行います。</p> <p>すべての解析において、診断時の年齢、出生年、診断年、性で調整し、原爆放射線被曝との関連を検討します。また、がんリスクおよび生存率との関連が知られている生活要因（例えば、喫煙歴や肥満度指数）や診断時の病期との関連も検討します。</p>
他の機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（提供先機関：ワシントン大学） <input type="checkbox"/> 無
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	<p>寿命調査データから、性別、被爆都市、出生年、出生月、対象者への登録時期（年月）、生死の別、死亡時期（年月）、死因（がん死亡または非がん死亡）、爆心地からの距離、推定線量（個人が識別できないよう数値は丸める）、喫煙状態、アルコール摂取量、がん検診歴、学歴。広島と長崎の地域がん登録から、がんの診断情報（部位、組織型、病期、診断根拠、診断時期（年月）、診断時の年齢など）。</p>
利用する者の範囲	<p>ワシントン大学</p> <p style="padding-left: 20px;">バックワルト・ブランディー フィップス・アマンダ バティ・パーヴィーン フュー・オードリー カー・キャサリン</p> <p>放射線影響研究所 杉山裕美</p>

	フレンチ・ベンジャミン ブレナー・アリーナ
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	バックワルト・ブランディー (ワシントン大学)
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：杉山裕美 公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131